

平成 25 年度第 2 回鳥取大学技術部技術発表会プログラム

日 時 : 技術部業績報告 ポスター展
平成 26 年 3 月 17 日 (月) 9 時 00 分から 17 時 00 分まで
技術発表会
平成 26 年 3 月 17 日 (月) 13 時 00 分から 17 時 00 分まで
場 所 : 鳥取大学 広報センター 2 階 スペース C、F
主 催 : 鳥取大学 技術部

技術発表会 プログラム

- 13:00 受付開始
- 13:15 開会 挨拶 板木 紀久 統括技術長
- 13:20 特別講演「衛星追跡とリモートセンシングを用いたモンゴルの野生動物研究」
講師 伊藤 健彦 (鳥取大学乾燥地研究センター 緑化保全部門 助教)

技術発表第 1 部

- 14:10 発表者 竹田諭司 所属 工学・情報系部門 実験技術系グループ
発表題目 「技能検定受検への取り組み」
- 14:30 発表者 梅実貴之 所属 農学系部門 フィールド系第 1 グループ
発表題目 「FSC 作物班における有機農業への取り組み」
- 14:50 発表者 日比野寿 所属 名古屋工業大学技術部共同利用課
発表題目 「X線回折粒子統計解析による結晶粒径評価」

技術発表第 2 部

- 15:20 発表者 吉川達也 所属 工学・情報系部門 情報基盤系グループ
発表題目 「行先案内板のシステム更新」
- 15:40 発表者 足立昭子 所属 医学系部門 分析系グループ
発表題目 「平成 25 年度鳥取大学医学部附属病院災害訓練
(多数傷患者受入)を受講して」
- 16:00 発表者 畑岡寛 所属 工学・情報系部門 設計・計測系グループ
発表題目 「特別教育および技能講習の受講報告」
- 16:20 発表者 伊藤亮祐 所属 医学系部門 組織系グループ
発表題目 「組織の形態および組織に含まれる核酸の安定性保持に
良好な骨組織脱灰法の検討」
- 16:40 「退職に寄せて」 板木 紀久 統括技術長
- 16:55 総括 挨拶 田中 久隆 技術部長 (研究担当 理事)
- 17:00 閉会
- 17:30 情報交流会・懇親会 (場所: 鳥取大学生協第 1 食堂)

平成25年度 第2回技術部技術発表会 発表一覧

発表者	竹田 諭司 たけだ さとし	所属	工学・情報系部門実験技術系グループ
発表題目	技能検定受検への取り組み		
概要	国家検定制度である技能検定は、社員の能力評価に取り入れている企業も多く、なかでも設備保全、生産技術分野の従事者が受検する機械保全職種は、全国で毎年3万人以上が受検する技能検定全体で2番目に受検者の多い職種である。支援能力の自己研鑽と学生へのキャリア形成支援を目指して、これから就職活動をむかえる学生とともに、機械保全技能検定への受検に取り組んだ事例を報告する。		
発表者	梅実 貴之 うめざね たかゆき	所属	農学系部門フィールド系第1グループ
発表題目	FSC作物班における有機農業への取り組み		
概要	有機農業で出来た農産物は消費者にとって関心のあるものだが、まだイメージだけが先行していることが多く、特別栽培、エコファーマーなど類似した用語もあり、その違いについて詳しく知られていない。発表者らは学外で有機農業に関する研修会に参加し知識を深めており、それらをもとに自分たちの現場で試行錯誤を行っている。本発表では有機農業の概要を説明するとともに、FSC作物班における取り組みについて報告する。		
発表者	日比野 寿 ひびの ひさし	所属	名古屋工業大学技術部共同利用課
発表題目	X線回折粒子統計解析による結晶粒径評価		
概要	粉末X線回折法において発表者を含むグループにより試料の配向を変化させながら回折強度を記録する測定から数 μm の結晶粒径を定量的に評価しうる新しい解析手法(スピナースキャン粉末回折法)が開発され、すでに3~20 μm の範囲で粒径の異なる α -石英粉末について、粒径に対応した結晶粒径が見積もられることを確認している。しかしながら20 μm 以上の結晶粒径では高精度な評価が可能か確認できていないため20 μm 以上の結晶粒径について高精度な評価が行えるか調査を行った結果、数十 μm の粗大な結晶子も評価出来うるという結果が得られた。		
発表者	吉川 達也 よしかわ たつや	所属	工学・情報系部門情報基盤系グループ
発表題目	行先案内板のシステム更新		
概要	工学部玄関で使用していた行先案内板の複数個所の損耗に備えて、システムの入替えといくつかの拡張を行った。その概要を報告する。		
発表者	足立 昭子 あだち あきこ	所属	医学系部門分析系グループ
発表題目	平成25年度鳥取大学医学部附属病院災害訓練(多数傷病者受入)を受講して		
概要	阪神淡路大震災を契機に災害医療体制の整備が強化されたことにより、鳥取大学附属病院は平成11年度より災害拠点病院に指定されている。今回「本院が被災した想定の下、実際に模擬患者のトリアージ等を行うことにより本院の災害対策能力の底上げ及び多数傷病者受入体制を整備する」事を目的として開催された医学附属病院災害訓練(講義・机上訓練・受入訓練)を受講し、訓練の意義と考察を加えて報告する。		
発表者	畑岡 寛 はたおか ひろし	所属	工学・情報系部門設計・計測系グループ
発表題目	特別教育および技能講習の受講報告		
概要	労働安全衛生法第59条では、特定の粉じん作業について作業に従事する者は特別教育を受講することが義務付けられている。発表者は建設材料実験室でセメントを扱い、「屋内においてセメント、フライアッシュ又は粉状の鉱石、炭素原料、炭素製品、アルミニウム若しくは酸化チタンを袋詰めする箇所」に匹敵する作業場であるため、「粉じん作業に係わる特別教育」を受講した。また、フォークリフト運転技能講習および玉掛け技能講習を受講したので報告する。		
発表者	伊藤 亮祐 いたう りょうすけ	所属	医学系部門組織系グループ
発表題目	組織の形態および組織に含まれる核酸の安定性保持に良好な骨組織脱灰法の検討		
概要	光学顕微鏡用の組織標本作成において、最も固い組織の一つである動物の骨組織標本作成には、強酸性や中性の脱灰液による脱灰操作を必要とする。それらは同時に組織への障害なども懸念される。本研究では、組織の脱灰法構築の目的で各脱灰液に浸した骨組織にカルシウム塩の溶出効果を高めるとされる超音波処理をおこない、それらの有用性を検討したので報告する。		